

大会主旨

本大会は横浜のテニスの技術向上を目指すため、昭和55年に第1回目を開催し、今大会で45回を数えるようになりました。

出場選手は横浜市、神奈川県 of 優秀な選手を選抜するため、全日本選手権、国民体育大会、全日本都市対抗テニス大会等の代表選手をはじめ、市民大会、神奈川選手権大会の優勝者及び上位選手、さらにジュニアの育成の観点から、横浜ジュニアトーナメント等の上位者を推薦し大会を実施しております。

その結果、本大会からは、男女とも多くの優秀な選手が育っていきました。

その背景には、可能性ある選手を、暖かく見守り、指導をしていただきました元デビスカップ選手であり、監督を歴任された(故)広瀬均様、渡邊康二様、本井満様、さらには当協会顧問でありました(故)藤富信義様等の偉大な先輩のお陰で多くの選手の育成・強化に繋がり、このように本大会を実施しております。

今後とも、本大会が益々発展し、横浜市及び神奈川県のテニスのレベルアップに繋がるよう努めて行きます。

大会役員

顧問	山田 悠一・青山 悦二・福田 昇・高橋 徹
大会会長	日下 啓二
副会長	相良 治夫・関場 和子・熊谷 賢治・大村幸雄
大会委員長	岡崎 崇徳
大会副委員長	石崎 勇太
レフェリー	濱 博司
運営委員	川上 利勝・高杉 絹子・小島 淳・窪田洋久・竹田 博英 鈴木 聡子・平沢 菜雅子・由井 マリ
ドクター	吉田 徳